

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「一方、中期計画に掲げている科学研究費補助金の申請件数及び採択件数について、平成15年度から平成21年度にかけて採択件数が減少していることから、取組が十分には行われていない。」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい。</p> <p>【理由】 後述の「2 項目別評価 II（2）財務内容の改善に関する目標」に関連して、削除をお願いしたい。</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 後述のとおり。</p>

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 II. 業務運営・財務内容等の状況 (2) 財務内容の改善に関する目標</p> <p>【原文】 「科学研究費補助金及び各種研究助成等の関連情報を収集し（中略）未申請理由の調査に取り組んでいるものの、平成15年度から平成21年度にかけて科学研究費補助金の採択件数が減少していることから、中期計画を十分には実施していないものと認められる。」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい。</p> <p>【理由】 秋田大学では、科学研究費補助金及び各種研究助成金に関し、「関連情報を収集し、学内への周知等により、申請件数、採択件数の増加を図る。」及び「公開セミナー、講演会等の開催により、研究内容や研究成果等を積極的に情報発信を行い、産学連携等研究費及び奨学寄附金の増加を図る。」ことを中期計画に掲げ、大学として積極的に取り組んできました。 その結果、平成15年度から平成21年度にかけて科学研究費補助金申請件数は増加しております。一方、採択件数の推移を見ますと、平成20年度に落ち込みはありましたが、科学研究費補助金制度の改正もあり全国的にも減少しており、本学では翌21年度には増加に転じていることから、この期間内においては年度によ</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、下記とおり修正する。</p> <p>「科学研究費補助金及び各種研究助成等の関連情報を収集し、学内への周知等により、申請件数、採択件数の増加を図る」（実績報告書31頁・中期計画【160】）については、平成15年度と比較して増加している年度はあるものの、平成21年度を含め複数年度で科学研究費補助金の採択件数が減少していることから、中期計画を十分には実施していないものと認められる。</p> <p>【理由】 平成15年度と比較して増加している年度もあるものの、平成21年度を含め複数年度で科学研究費補助金の採択件数が減少しているため。 なお、評価に際しては、平成15年度から平成21年度の全国の採択件数実績も勘案して総合的に評価している。</p>

て増減があるものの、毎年平均168件程度の採択があり、一概に右肩下がりとはなっていない状況で、更に、共同研究、受託研究、奨学寄附金等の外部資金に関しては、平成15年度から平成21年度にかけて件数及び金額ともに増加していることから、前述の取組による効果が現れていると考えます。

以上のことから、申立内容のとおり、当該事項の削除をお願いいたします。